

よしもと和広の

町議会報告

2020年1月



日本共産党上富田町委員会

吉本和広 ☎ 08053301493

地域公共交通の 整備について



2019年4月にコミュニティバスのダイヤ改正が行われ、支線運行が開始されました。

ダイヤ改正で、困っておられる方からお話を聞きました。坂の上にある「水穂団地」のバス停がなくなること、10年間、年間パスポートを購入して乗っておられた方はタクシーを利用しなければならなくなりました。同じように坂の上にある丹田台でも、改正前は9時前に来ていたバスが丹田台を通らずに役場へ行くようになり、この時間帯は利用できなくなりました。10時頃に来るバスは、以前とは逆回りで南紀の台を通って朝来駅、役場に行くため30分以上も乗車しなければなりません。帰りも逆回りのため30分以上乗車することになり、買い物をする時間も少なく、不便で使えない、元に戻してほしいとのことでした。他の地域からも、紀南病院行がなくなり、龍神バスやタクシーを利用しなければならなくなり負担が大きい、市ノ瀬や大坊でのバスの乗り継ぎは利用しにくいなど、不満の声が出ています。

11月にコミュニティバスに乗車してみました。本線コースは始発から最終まで1日、支線コースは別の日にそれぞれ半日乗車し、利用者や運転手さんからお話を聞きました。

12月議会では、町に利用者が減った地域や改正前から利用者が少ない地域の調査を行い住民の要望に応じた運行になるよう質問しました。合わせて、住民の要望を直接聞いて、より良い公共交通網にするために国が進めている「地域公共交通網形成計画」を策定するよう提案しました。

よしもと 支線コースの中で特に利用者が少ないのは、1日5〜6往復しているスポーツセンター行です。1運行当たり0・04人で、26回運行して1人しか乗っていない計算になります。運転手さんに聞くと、4月当初ベイリーカフェに何名かで行かれた以外は全くといっていいほど乗っていないと話されていました。乗り継ぎ線の大坊・稲葉根王子線では、1運行当たり0・02人で、50回運行して乗車したのは1人です。役場・野田線は0・05人です。

私は利用の少ないコースをなくせと言っているわけではありません。なぜ利用者が少ないのでしょうか。要望に応じた運行回数や時刻設定、停留所設定になっているのでしょうか。調査されましたか。

答弁 なぜ利用されないかの調査はしていません。スポーツセンター行についてはスタッフに聞くとスポーツサロン利用者の平均年齢は49・4歳でほとんどの方が自動車で来られています。野田コースはもとも1運行当たりの乗車数が0人で、路線バスが往復6本走っているのも原因にあると考えます。乗り継ぎコースは、高齢者等の方は乗り換えが身体的に負担を伴うため敬遠されていると考えます。

現場の課題を的確に把握するために、9月議会でも利用者以外の調査の必要性を指摘されましたので、広報上富田1月号の裏面全面を使って町民向けのアンケートを実施します。

よしもと 支線コース導入についての評価と課題をお聞かせください。〈裏面へ〉